

(2) 次の表の基礎資格を取得した後、それぞれの在職年数と所要単位を充足した場合は、教育職員検定により当該免許状の授与を受けることができます。

(免許法別表第3)

受けようとする免許状の種類		小学校教諭専修免許状	小学校教諭一種免許状(備考4)	(免許法別表第3)																		
基礎資格		小学校教諭一種免許状を有していること。	小学校教諭二種免許状を有していること。	①大学に3年以上在学かつ93単位以上修得 ②大学に2年以上在学及び大学の専攻科に1年以上在学かつ93単位以上修得 上記いずれかに該当し、小学校教諭二種免許状を有していること。																		
在職年数		3	5	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	6	7	8	9	10	11	12	13
合計(所要単位数)		15	45	40	35	30	25	20	15	10	25	20	15	10	45	40	35	30	25	20	15	10
教科に関する専門的事項に関する科目	国語(書写を含む。)																					
	社会																					
	算数																					
	理科																					
	生活																					
	音楽																					
	図画工作																					
	家庭																					
	体育																					
	外国語																					
小計			4	4	3	3	3	2	2	1	2	2	2	1	4	4	4	3	3	2	2	1
各教科の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目	第二欄	各教科の指導法に関する科目(備考2)	各教科の指導法																			
	第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史・思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		全ての事項にわたること。																	
	第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		全ての事項にわたること。		「道徳の理論及び指導法」1単位を含めて修得すること。		「道徳の理論及び指導法」1単位を含めて修得すること。		全ての事項にわたること。		「道徳の理論及び指導法」1単位を含めて修得すること。									
小計(第二欄～第四欄)			11	9	7	6	4	3	3	1	5	4	3	1	14	12	10	9	8	6	4	2
小計(第三欄)			5	5	5	5	4	4	3	3	4	4	3	3	7	5	5	5	4	4	3	3
小計(第四欄)			5	5	5	4	4	4	4	3	4	4	4	3	8	8	7	6	5	4	4	3
小計(第二欄～第四欄)			21	19	17	15	12	11	10	7	13	12	10	7	29	25	22	20	17	14	11	8
大学が独自に設定する科目(備考3)		15	5	5	5	4	4	4	3	2	5	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1
その他の科目(備考5)			15	12	10	8	6	3			5	2			10	9	7	5	3	2		
免許法の適用条項		別表第3、同表備考4号	別表第3、同表備考7号		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左	
免許法施行規則の適用条項		11条	同左		11条備考3号		12条前段		11条		11条		11条		11条		11条		11条		11条	

- 備考
- 各単位は、認定課程(前記(1)備考3)によるほか、他の課程(免許法認定講習等)においても修得することができます。
 - 「各教科の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目」の第二欄「教科の指導法に関する科目」については、当該欄の所要単位が10単位以上のときは5教科以上、5単位以上のときは3教科以上にわたる教科の指導法(いずれも音楽、図画工作、体育のうち1以上を含むこと。)を含み修得しなければなりません。
 - 専修免許状に係る単位については、大学院の課程又は大学(短期大学を除く。)の専攻科の課程において修得した単位でなければなりません。(免許法 別表第3備考4号)
 - 一種免許状の授与を受ける場合の単位については、短期大学(相当程度を含む。)において修得した単位は含むことができません。ただし、短期大学の専攻科(学位規則第6条第1項に規定する(独)大学改革支援・学位授与機構が定める要件を満たすものに限る。)において修得した単位については、含めることができます。(免許法 別表第3備考5号)
 - 一種免許状又は二種免許状を受けようとする者は、「教科に関する専門的事項に関する科目」以外の科目の単位を修得するに当たっては、幅広く深い教養を身につけるよう努めなければなりません。(免許法施行規則 第11条第2項)
 - 上記のほか、単位の修得及び在職年数の算定方法については、「第3章」を参照してください。